

## 耕作放棄地の解消

山形県朝日町

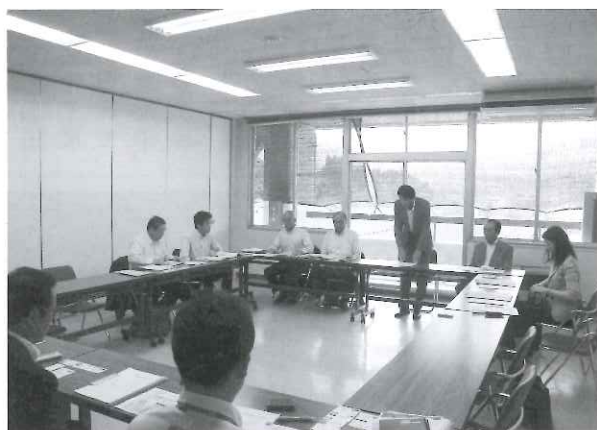
当初は町と山形県トラック協会が共同で「菜の花プロジェクト」として行っていた。菜の花栽培による食用油の精製と廃食油回収によるバイオディーゼル燃料の精製・販売により翌年度の種子を購入するサイクルで実施していた。しかし、連作障害や社会情勢の変化により、トラック協会が脱退。

現在は、保育園や小学校の環境学習の場、地域づくりや地域活性化の場が変わってきている。

### やっぱりここが大事

耕作放棄地解消には、住民の耕作放棄地への協力・目的とする耕作作業への協力が必要。

役場の各課・民間も含めた各関係機関の連携と協働への仲介、国・県施策との連携は避けることができないと再確認した。



▲朝日町役場での研修

## 米沢牛市場の取り組み

山形県川西町

古くから肉用牛生産が行われており、町を代表する基幹産業となっている。

「担い手不足・飼養頭数の減少・配合飼料価格の高騰」の課題がある。

課題解決に向け、畜産クラスター計画を実施。

「基盤の底上げ・ブランド強化・環境保全・強い農業」を4つの柱とし、特に「川西生まれの川西育ち」にこだわったブランド強化に力を入れ、高付加価値化を狙っている。

「川西町町有牛貸付管理事業」を実施し、農業経営の安定を図っている。

## 世帯NPO法人加入の取り組み

### 特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク

組織再編で、地域にあった多くの団体を1つにまとめ、吉島地区の全世帯が加入地域の問題点について、横の連携でスピード感ある解決を行っている。

事務局に若い世代層を登用し、若者の活躍の場を確保することで、将来を見据えた地域づくりを行っている。



▲特定非営利活動法人きらりよしじまネットワークでの研修

# 学んできました

農業法人化の取り組みや耕作放棄地解消など農業振興のための支援策、今後の議会活動に資することを目的に、山形県酒田市・真室川町・朝日町・川西町を視察研修してきました。

## 特定農事組合法人の取り組み

山形県酒田市

### 株式会社和農日向(わのうにっこう)

美しい田園風景や集落を維持しながら活力ある地域づくりを目的に設立。地域全体で地元の雇用拡大を考えている。株式会社にすることで、農業以外の業種参入を可能とした。冬期間、市の除雪作業を受託し収入を確保。

#### やっぱりここが大事

組織の設立の方法はいくつもあるが、株式会社としたことには驚いた。農業を知らない若者も積極的に雇用する環境づくりは、本村でも前向きに取り組むべきである。



▲特定農業法人株式会社和農日向  
廃校校舎を利用したコミュニティセンター

## 農事組合法人の取り組み

山形県真室川町

### 農事組合法人はるきの

法人化により基盤整備事業を促進させる。交付金や補助金、税制面での優遇もある。農業機械の共同化。ドローンによる肥料散布で作業のスマート化。

#### やっぱりここが大事

本村と遜色ない地域でありながら、農地を集約し、組織力を十分に活用し運営している姿は、エネルギーに満ちあふれていると思えた。組織をまとめ、リーダーシップを十分に発揮してもらえる人材・リーダーの育成は急務である。



▲農事組合法人はるきの 基盤整備中の現地を視察